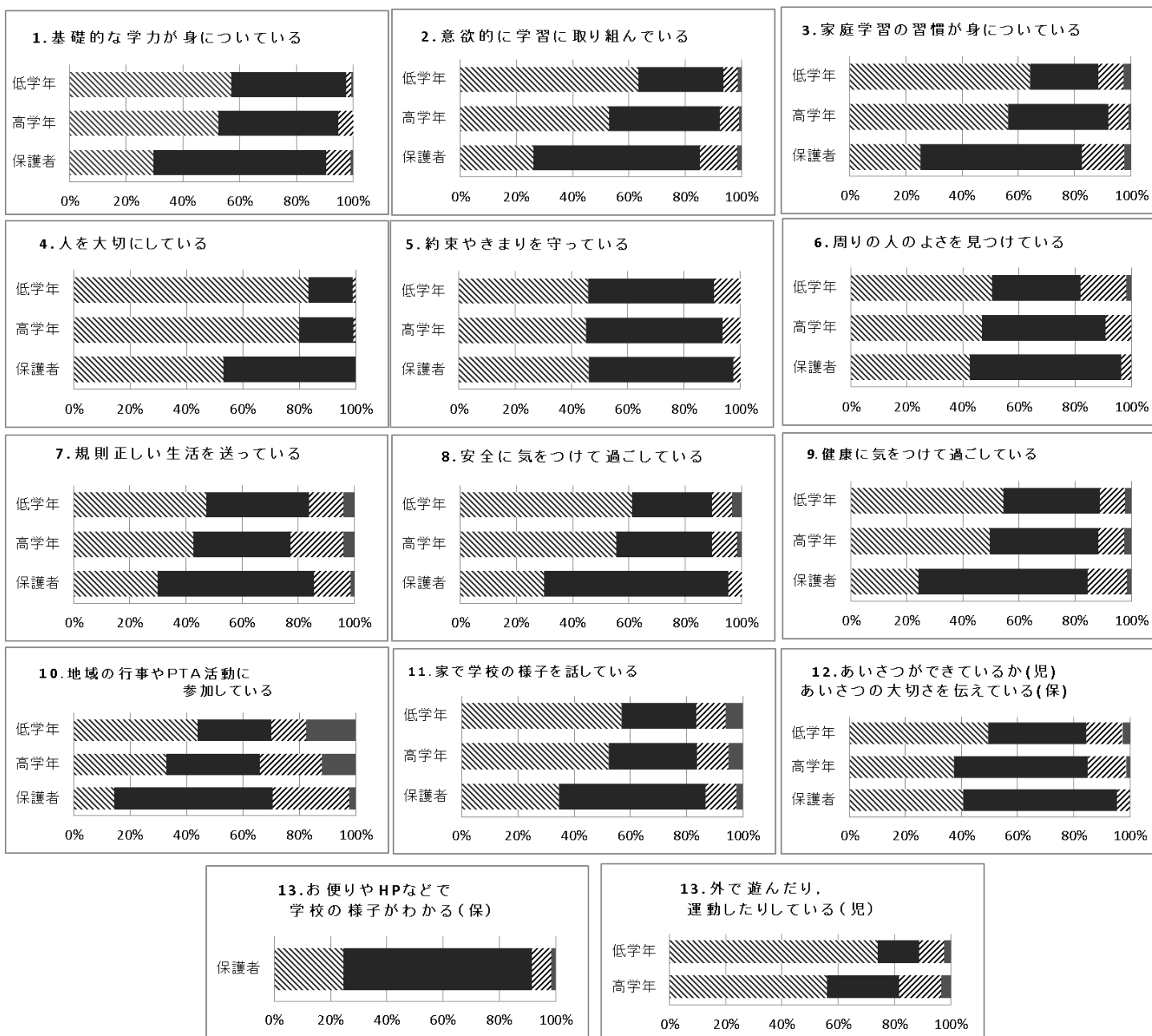


桂坂だより 特別号

学校生活について（ふりかえり）アンケート結果【後期】

★児童・保護者アンケートより

よくできている 大体できている あまりできていない できていない



令和元年3月3日
京都市立桂坂小学校
校長 若松 美里
TEL 333-1101
FAX 333-1102

お忙しい中、学校づくりアンケートにご協力いただきありがとうございました。このアンケートは、子どもたちや保護者、地域の方々の一人一人の声を大切にすると共に、共通認識のもと連携して取組をすすめ、子どもたちの学校生活をよりよいものにするを目指しています。



【児童・保護者アンケート結果から】

子どもたちや保護者のみなさんからのアンケートの結果・日々の子どもの様子を合わせて、全教職員で分析を進めています。



①基礎的な学力・学習への意欲

学習に関わる1・2・3の項目について、前期と同じく児童・保護者ともに80%以上の肯定的な回答がありました。子どもたちのがんばりを認めつつ、学年末テストなどを利用して、一人一人の子どもの苦手なところを捉え、授業や宿題などで補っていきたいと考えています。加えて、子どもたちの主体的な学びを生み出すためには、何でもかんでも教えずに“待つ”覚悟をもてるかも大切だとも考えています。

改善へのポイント

- 各種テストで苦手を把握する
- 子どもたちの良さ・苦手を家庭と共有する
- 子どもたちを“待てる”覚悟と余裕をもつ

②人間関係力の育成

人と関係に関わる4・5・6・12の項目については、前期に引き続き肯定的な回答が多いです。ただ、12の「あいさつ」については、子どもたちと大人では認識に差があるようです。もちろん自分から元気にあいさつできる子どもたくさんいますが、こちらからあいさつしても返ってこないときもあります。そんなとき学校では、「〇〇さん。おはようございます。」と名前と共にあいさつするようにしています。多くの子どもたちは“はっ”と気づき、あいさつを返してくれます。一人一人の子どもたちに地道な声掛けとともに、児童会活動などで子どもたち自身に考えさせる取組を進めたいと考えています。

改善へのポイント

- 大人が“あいさつ”する姿を見せる
- 自分の行動を気付かせる工夫
- 子どもたち自身に考えさせる

今回の結果や自由記述欄の内容を客観的かつ謙虚に受け止め、指導や取組の改善を図り、より一層充実させていきたいと考えています。

★よりよい学校づくりに向けて

改善のポイントから、すぐにできることを全教職員で考え、動き出しています。



わくわく探究教室
「マシュマロチャレンジ」



ジャンプアップコーナーで体づくり

子どもたちの主体的な学びへ

子どもたちが主体的に学ぶためには、「不思議だな」「おもしろそう」「やってみよう」「チャレンジしたい」と思うものと“出会う”こと、そして試行錯誤している子どもたちを見守る大人が、すぐ結果を求めず“待つ”ことではないかと考えています。そんな機会をできるだけたくさんつくっていきます。



漢字検定



日文研の出前授業
「漫才の歴史」
「移民船のお話」

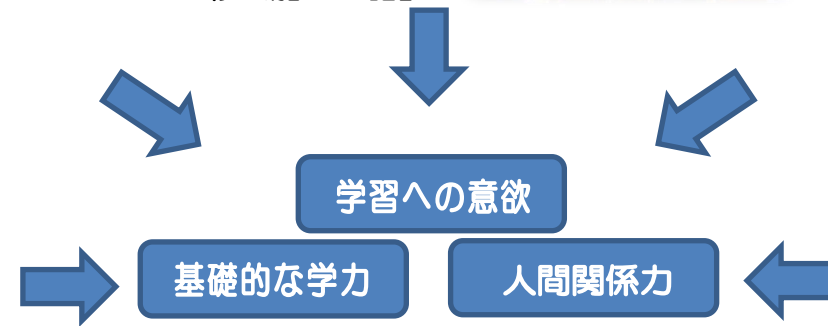


子どもたちの人との関わり方を高めるため、ほっとタイムを継続するとともに、クラスでの遊びを通して関りを深めたいと思っています。教職員も同じ活動を体験し、学び合っています。

ほっとタイム

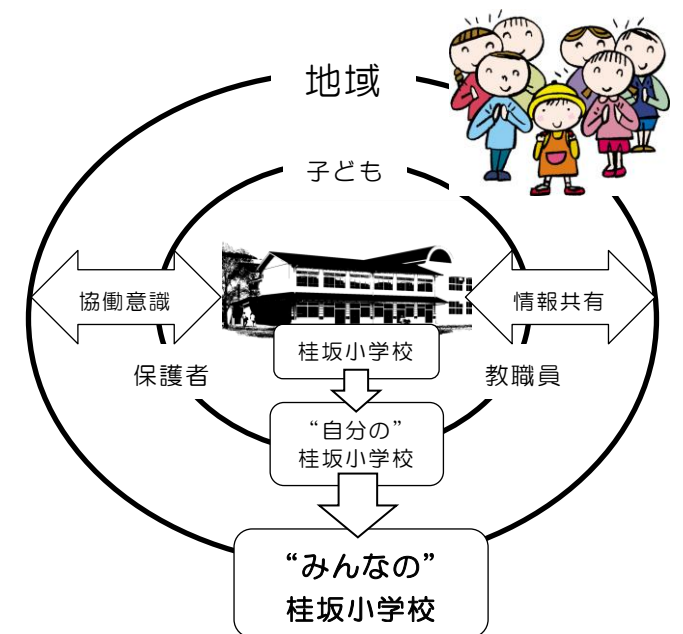
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・構成的グループエンカウンター

楽しいクラス遊び



★9月26日（木）第1回学校運営協議会（PKF：プロジェクト・カザラッカ・フォレスト）より

学校評価「保護者・児童アンケート」の結果を受けて、学校運営協議会（PKF）で話し合いを行いました。



今回いただきました貴重なご意見を受けまして、すべての子どもが楽しいと思える学校の実現を目指して、今後も教育活動に取り組んでいきたいと思っています。保護者や地域の皆様にもご理解ご協力いただきますようにどうぞよろしくお願いいたします。